令和８年８月４日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

資料５－１

令和７年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業

【明世地区
まちづくり推進協議会】

●実績の概要

事業数	７事業
事業費総額 （決算時）	１，１１０，０００円
交付金決定額 （うち加算額）	１，１１０，０００円 （１１０，０００円）
交付金決算額	１，１１０，０００円
交付金返還額	０円

●添付資料

・実績報告書※各事業の実績書の前に当初の計画書を添付　Ｐ１　～Ｐ２９
・事後評価調書　Ｐ３０～Ｐ３６
・参考写真
（令和７年度夢づくり地域交付金事業の様子）　Ｐ３７～Ｐ３９

様式第８号（第１１条第１項関係）

令和　８年　４月３０日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市上平町１－１番地
名称：明世地区まちづくり推進協議会
代表者氏名：会長　太田　良平

夢づくり地域交付金実績報告書（通常事業）

令和８年３月３１日付瑞浪市指令第５０号の１１で交付決定された夢づくり地域交付金の事業計画について、瑞浪市夢づくり地域交付金交付規則第１１条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．実績書（様式第９号）

事　業　名
（１）あきよウォッチング事業
（２）広報活動事業
（３）スポーツ推進事業
（４）花いっぱい事業
（５）青少年育成事業
（６）ホタル育成事業
（７）明世ホタルの里“福”観賞会
（　　）基金積立事業

２．活動記録等の資料（写真等）
３．帳簿の写し（監事の記名・押印のあるもの）
４．通帳の写し
~~５．契約書の写し~~（１件の支払額が５０万円を超える場合に限る。）
~~６．備品購入、~~業者選定等の選定委員会等の会議録（ステップアップ事業）

注１）不要な文字は抹消すること。
注２）上記以外の添付書類がある場合は、連番を付して記載すること。

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

あきよウォッチング事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

明世地区は世帯の増加があるものの自治会未加入世帯が多く、地域に対する興味や関心、さらには住民同士のつながりも希薄になっていることが危惧されることから、これたの課題を解消するため多くの町民を一同に集められる場として開催する。事業内容は、地域の歴史や文化、自然等を学習して郷土への愛着・関心を高めることに加え、住民同士が地区を越えた交流の促進が図れるものとする。

令和７年度は、以下の事業を行う。
（１）地域の歴史や自然を学習する「町民ウォーキング」の開催
（２）児童生徒の学業成就と住民の健康を祈願し「どんど焼き」の開催
（３）明世地域計画に基づき、学区合同のイベントの開催

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

活動時期・参加目標人員

（１）町民ウオーキング	令和５年１１月上旬	１５０人程度
（２）どんど焼き	令和６年　１月上旬	１００人程度
（３）学区合同イベント	令和７年１１月上旬	２００人程度
	（ウォチングイベント開催時に同時開催）	

４　事業に要する経費（総事業費）

200,000　円

５　交付金申請額

200,000　円

（内、交付金加算額　　０円）

６　合同で実施する地区　　なし

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

あきよウォッチング事業

２　活動報告（活動内容等）

明世地区は世帯の増加があるものの自治会未加入世帯が多く、地域に対する興味や関心、さらには住民同士のつながりも希薄になっていることが危惧されることから、これたの課題を解消するため多くの町民を一同に集められる場として開催する。事業内容は、地域の歴史や文化、自然等を学習して郷土への愛着・関心を高めることに加え、住民同士が地区を越えた交流の促進が図れるものとする。

令和７年度は、以下の事業を行う。
（１）地域の歴史や自然を学習する「町民ウォーキング」の開催→実施済み
（２）児童生徒の学業成就と住民の健康を祈願し「どんど焼き」の開催→実施済み
（３）明世地域計画に基づき、学区合同のイベントの開催　→実施済み

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

（１）町民ウオーキング	令和７年１１月上旬	１５０人程度	→１６０人程度
（２）どんど焼き	令和８年　１月上旬	１００人程度	→１２０人程度
（３）学区合同イベント	令和７年１１月上旬 （１）と同時開催	２００人程度	→１８０人程度

４　事業に要した経費（総事業費）

220,000　円

５　夢づくり地域交付金充当額

220,000　円
（内、交付金加算額　0円）

６　合同で実施した地区　該当なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	委員会準備（年間）	食料費	0
５月	委員会開催①（年間計画策定）		
６月			
７月	委員会開催②		
８月	委員会役員打合せ	食糧費	2,000
９月	委員会開催③		
１０月	委員会開催④		
１１月	町民ウォーキングイベント 学区合同イベント	消耗品費	20,000
		消耗品（景品）	82,000
		食料費	51,000
		印刷費	5,000
		保険料	0
	委員会開催⑤ （ｳｫｰｷﾝｸﾞ反省会、どんど焼き詳細検討）		
１２月	どんど焼き事前準備 （木切り出し等）	食料費	6,000
		消耗品費	7,000
		印刷費	3,000
		来場記念品	43,000
１月	どんど焼き当日	消耗品費	0
		食料費	7,000
２月			
３月			
合計			220,000

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績額	備考
夢づくり地域交付金	200,000	220,000	
自主財源	0	0	
その他（　　）	0	0	
合　　計	200,000	220,000	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容				
委員会	会議案内通知 委員会開催	食料費	5,000	0	お茶等
	小計		5,000	0	
町民 ウォーキング	町民ウォーキング 開催	消耗品費	150,000	96,000	
		食料費	20,000	53,000	
		保険料	5,000	0	
		印刷費	6,000	5,000	
	小計		181,000	154000	
どんど焼き	木の切り出し 事前告知、等	食料費	10,000	6,000	お茶等
		消耗品費	10,000	7,000	縄、等
		印刷費	0	3,000	
		来場記念品	0	43,000	
	開催	消耗品費	4,000	0	
		食糧費	10,000	7,000	
	小計		34,000	66,000	
合　　計			220,000	220,000	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

広報活動事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

まちづくり活動への理解と関心を高めて、参加者及び担い手の増加を図るため、また、まちづくり事業の告知等を行うため、広報誌を発行・配布する。
さらには、郷土の自然や歴史等の情報を伝えることにより、郷土への愛着と関心を深める。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

広報誌の発行
明世まちづくり活動の活動状況を広く地域住民の皆さんにご理解いただき、諸活動へのご協力が頂ける様、年間総括号として写真を中心に年１度の発行を年度末に実施いたします。
掲載内容は、各委員会活動状況の他、明世小学校とのコミュニティ・スクールへの取組み内容や、地域の話題、まちづくりイベントのお知らせ等を取上げて参ります。

４　事業に要する経費（総事業費）

100,000 円

５　交付金申請額

100,000 円

６　合同で実施する地区　　なし

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

広報活動事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

まちづくり活動への理解と関心を高めて、参加者及び担い手の増加を図るため、また、まちづくり事業の告知等を行うため、広報誌を発行・配布する。
　さらには、郷土の自然や歴史等の情報を伝えることにより、郷土への愛着と関心を深める。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

広報誌の発行
　明世まちづくり活動の活動状況を広く地域住民の皆さんにご理解いただき、諸活動へのご協力が頂ける様、年間総括号として写真を中心に年１度の発行を年度末に実施いたします。
掲載内容は、各委員会活動状況の他、明世小学校とのコミュニティ・スクールへの取組み内容や、地域の話題、まちづくりイベントのお知らせ等を取上げて参ります。
　　→年度末に年間総括版として発行

４　事業に要した経費（総事業費）

60,000　　円

５　交付金申請額

当初　　60,000　　円
（内、交付金加算額　　0円）

６　合同で実施する地区　　該当なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施 予定時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月	委員会開催（活動計画擦り合わせ）		
６月			
７月			
８月			
９月			
１０月			
１１月			
１２月	委員会開催（編集会議）		
１月			
２月	委員会開催（編集会議）		
３月	年間総括号発行　　６Ｐ→４Ｐ 800部→700部	印刷費	60,000
合計			60,000

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績額	備考
夢づくり地域交付金	60,000	60,000	
自主財源	0	0	
その他（　　）	0	0	
合　　計	60,000	60,000	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容				
機関紙	まちづくりだより発行	印刷費	60,000	60,000	
					4P 700部
合　　計			60,000	60,000	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

スポーツ推進事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

町民の高齢化に伴い、健康づくり及び健康意識の高揚を図るため、また、参加者同士の交流促進を目的として事業を行う。
事業実施に当たっては、高齢者が気軽に参加できるウォーキングを主体とし、日常的に運動に親しむきっかけを創出する。

令和７年度は、以下の事業を行う。
（１）ノルディックウオークの開催（委員の大森やすゑ氏指導による）
（２）エアロビ・ヨガ講習会の開催（ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰを招集）

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

活動時期・参加目標人員
（１）ノルディックウオーク　４月～１１月（延べ８回）　１６０人程度
（２）ヨガ・エアロビ講習会　６月(ヨガ）１０月（エアロビ）　５０人程度

４　事業に要する経費（総事業費）

50,000 円

５　交付金申請額

50,000 円

（内、交付金加算額　０円）

６　合同で実施する地区　なし

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

スポーツ推進事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

町民の高齢化に伴い、健康づくり及び健康意識の高揚を図るため、また、参加者同士の交流促進を目的として事業を行う。
事業実施に当たっては、高齢者が気軽に参加できるウォーキングを主体とし、日常的に運動に親しむきっかけを創出する。

令和７年度は、以下の事業を行う。
（１）ノルディックウオークの開催（委員の大森やすゑ氏指導による）
（２）エアロビ・ヨガ講習会の開催（ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰを招集）

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

活動時期・参加目標人員
（１）ノルディックウオーク　４月～１１月（延べ８回）　１６０人程度→１４０人程度
（２）ヨガ・エアロビ講習会　６月(ヨガ）１０月（エアロビ）　５０人程度　→３０人程度

４　事業に要する経費（総事業費）

当初　27,000　円

５　交付金申請額

当初　27,000　円
（内、交付金加算額　0円）

６　合同で実施する地区　該当なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施 予定時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	ノルディックウォーキング＃１		
５月	ノルディックウォーキング＃２ 委員会開催＃１	食糧費	0
６月	ノルディックウォーキング＃３ ヨガ講習会	報償費	15,000
７月	ノルディックウォーキング＃４		
８月			
９月			
１０月	ノルディックウォーキング＃５ エアロビ講習会	報償費	0
１１月	ノルディックウォーキング＃６		
１２月	委員会開催＃２	食糧費	0
１月			
２月	ノルディックウォーキング＃７		
３月	ノルディックウォーキング＃８	報償費	12,000
合計			27,000

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績額	備考
夢づくり地域交付金	27,000	27,000	
自主財源	0		
その他（　　）	0		
合　　計	27,000	27,000	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容				
委員会	・開催2回を予定 ・活動計画の擦り合わせ	食糧費	0	0	
	小計				
ノルディック ウォーキング	・年８回実施予定 ・開催月の第４火曜9時～11時 ・市民公園いこいの広場周辺	報償費	12,000	12,000	
健康講習会	ヨガ教室	報償費	15,000	15,000	
	エアロビ教室	報償費	0	0	未開催
合　　計			27,000	27,000	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

花いっぱい事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

明世地区内における環境美化を推進するため、明世小学校と各区に花の苗を配布し美化を進める。明世小学校とは、コミュニティスクール活動の一環として、低学年（１年、２年）を対象に「授業枠」の中で取り組み、植物を育てる健全な心を育む。
各地区の植栽は、それぞれの地域協力者、長寿会（クラブ）等の皆さんに依頼する。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

春：１，２００ポット
　明世小学校：３００、山野内：３００、戸狩：３００、月吉：３００
秋：１，２００ポット
　明世小学校：３００、山野内：３００、戸狩：３００、月吉：３００

４　事業に要する経費（総事業費）

180,000 円

５　交付金申請額

180,000 円

６　合同で実施する地区

なし

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

花いっぱい事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

明世地区内における環境美化を推進するため、明世小学校と各区に花の苗を配布し美化を進める。明世小学校とは、コミュニティスクール活動の一環として、低学年（１年、２年）を対象に「授業枠」の中で取り組み、植物を育てる健全な心を育む。
各地区の植栽は、それぞれの地域協力者、長寿会（クラブ）等の皆さんに依頼する。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

春：１，２００ポット　→計画通り
　　明世小学校：３００、山野内：３００、戸狩：３００、月吉：３００
秋：１，２００ポット　→　１，０００ポット
　　明世小学校：３００、山野内：３００、戸狩：３００、月吉：３００

４　事業に要する経費（総事業費）

当初　　167,000　　円

５　交付金申請額

当初　　167,000　　円
（内、交付金加算額　　0円）

６　合同で実施する地区　　該当なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施 予定時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月	事前準備（堆肥）	消耗品費	2,000
６月	花苗配布　１，２００ポット →計画通り	原材料費 消耗品費	84,000 11,000
７月			
８月			
９月			
１０月			
１１月	花苗配布　１，２００ポット →１，０００ポット	原材料費	70,000
１２月			
１月			
２月			
３月			
合計			167,000

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績額	備考
夢づくり地域交付金	167,000	167,000	
自主財源	0	0	
その他（　　）	0	0	
合　　計	167,000	167,000	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容				
春：６月	花の苗配布内訳 明世小、戸狩、 山野内、月吉	消耗品費	13,000	13,000	肥料等
		原材料費	84,000	84,000	1200ｐ
秋：１１月	花の苗配布内訳 明世小、戸狩、 山野内、月吉 （1500ﾎﾟｯﾄ）	消耗品費	0	0	肥料等
		原材料費	70,000	70,000	1200ｐ
合　　計			167,000	167,000	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

青少年育成事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

将来の担い手を育てるべく、町民と児童生徒等との触れ合いの場として
以下の事業を計画する。

１）明世学区青少年育成町民会議を開催する。

２）市主催事業「こいのぼり祭り」の支援とインスタブースを設け
明世まちづくりの取組みをアピールする。

３）市主催事業「文化展」への出展をする。

４）地域計画の取組として、中京高校との耕作放棄地を使ったお花畑化と養蜂
を実施する。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

１）明世学区青少年育成町民会議を１０月に開催。８０名目標
明世小学校、瑞浪北中学校、中京高校（地域活性化部）よりまちづくり
に関する発表等をいただく。

２）こいのぼり祭り　5月4日、5日開催
①風船飛ばし、野球拳

３）市文化祭　ホタル育成事業と明世小コミュニテイスクールに於ける
活動状況をパネル等で取り纏め展示する。

４）地域計画の実行　　（中京高校との協働推進）
耕作放棄地を活用し、お花畑化と養蜂行い、地域の活性化に繋げる。

４　事業に要する経費（総事業費）

350,000　円

５　交付金申請額

350,000　円

（内、交付金加算額　　０円）

６　合同で実施する地区　　なし

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

青少年育成事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

将来の担い手を育てるべく、町民と児童生徒等との触れ合いの場として
以下の事業を計画する。

１）明世学区青少年育成町民会議を開催する。　→実施済み

２）市主催事業「こいのぼり祭り」の支援とインスタブースを設け　→実施済み
明世まちづくりの取組みをアピールする。

３）市主催事業「文化展」への出展をする。　→実施済み

４）地域計画の取組として、中京高校との耕作放棄地を使ったお花畑化と養蜂　→実施済み
を実施する。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

１）明世学区青少年育成町民会議を１０月に開催。８０名目標
明世小学校、瑞浪北中学校、中京高校（地域活性化部）よりまちづくり
に関する発表等をいただく。

２）こいのぼり祭り　5月4日、5日開催　→風船飛ばし、子供遊び、インスタ撮影ブース
①風船飛ばし、野球拳　　２日間で延べ４００人来場

３）市文化祭　ホタル育成事業と明世小コミュニテイスクールに於ける
活動状況をパネル等で取り纏め展示する。　→計画通り　期間中凡そ５００人立ち寄り
４）地域計画の実行　　（中京高校との協働推進）
耕作放棄地を活用し、お花畑化と養蜂行い、地域の活性化に繋げる。
→計画通り。　地域協力者延べ１２０名、高校生延べ６０名。
ヒマワリ開花時には、情報提供シートに基づきプレス取材あり新聞に掲載された。

４　事業に要する経費（総事業費）

当初　　320,000　　円

５　交付金申請額

当初　　320,000　　円
（内、交付金加算額　　0円）

６　合同で実施する地区　　該当なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	地域計画＃１（お花畑化、養蜂スタート）	消耗品費 食料費 報償費	32,000 15,000 15,000
５月	委員会開催＃１	食料費	0
	こいのぼり祭り	消耗品費 印刷費 材料費（ﾌﾛﾏ） 食料費	28,000 4,000 25,000 73,000
６月	地域計画＃２（草刈りetc） 明世小コミスク（泥薬師学習会）	消耗品費 食料費 消耗品費	11,000 0 3,000
７月	委員会開催＃２ 地域計画（休耕田活性化活動）	食料費 消耗品費	9,000
８月	地域計画（休耕田活性化活動）	食糧費	6,000
９月	委員会開催＃３		
	地域計画＃３		
１０月	明世学区青少年育成町民会議	食料費	11,000
	地域計画＃４	消耗品費 食料費	6,000 0
１１月	文化展出展		
	地域計画＃５		
１２月	委員会開催＃４		
	地域計画（休耕田活性化活動）	報償費 材料費	15,000 7,000
１月			
２月	委員会開催＃５		
	青少年育成町民会議	報償費 食糧費 燃料費	16,000 6,000 5,000
３月	地域計画＃６		
	青少年植樹イベント	消耗品費 食糧費	1,000 32,000
合計			320,000

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績額	備考
夢づくり地域交付金	320,000	320,000	
自主財源	0	0	
その他（　　）	0	0	
合　　計	320,000	320,000	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容				
委員会	委員会開催	食料費	0	0	
	小計		0	0	
町民会議	町民会議の開催	食料費	7,000	7,000	
		報償費	16,000	16,000	
		燃料費	5,000	5,000	
	小計		28,000	28,000	
こいのぼり祭り	・風船飛ばしを支援 ・インスタブース開設し じゃんけんゲームを実施	消耗品費	28,000	28,000	
		材料費	25,000	25,000	ｱﾛﾏｽﾄｰﾝ
		食料費	74,000	74,000	
		印刷費	5,000	5,000	
	小計		132,000	132,000	
文化展	まちづくり活動展示	消耗品費	0	0	
	小計		0	0	
地域計画	中京(花・養蜂)	消耗品費	86,000	86,000	
		食料費	22,000	22,000	
		報償費	15,000	15,000	耕作支援者
	小計		123,000	123,000	
コミスク	泥薬師勉強会	消耗品費	4,000	4,000	記念品
	小計		4,000	4,000	
緑化推進	青少年植樹イベント	消耗品費	1,000	1,000	
		食糧費	32,000	32,000	
	小計		33,000	33,000	
合　　計			320,000	320,000	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

ホタル育成事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

ゲンジボタルの育成事業を通じて青少年育成を始め地域の自慢として育てるため。以下の事業を計画する。

１）ホタルの里親づくり
２）ホタルの幼虫放流会の実施
３）ホタルの観賞会開催
４）明世小学校との勉強会の開催
５）用水路の整備作業の実施

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）　　#スピル!

１）ホタルの里親づくり…水槽設置支援、育成方法指導、餌のカワニナ補給等
・育成先…せいわ保育園、明世小学校、瑞浪北中学校、中京高等高校、サイエンスW
瑞浪市浄水場、地域有志…８人

２）ホタルの幼虫放流会の実施…３月（ホタルの里“福”にて５年生授業として）

３）ホタルの観賞会の開催…６月１５日～２１日
・他団体とコラボすることで、集客を高め認知度アップに繋げる）
※釜戸地区竜銀の滝ホタルまつり、暮らしの彩りマーケット

４）明世小学校との勉強会の開催…５月（５年生授業にて）講師／奥村　了氏

５）ホタルの専用水路整備作業の実施…都度必要に応じ（草刈り、泥だしetc）

４　事業に要する経費（総事業費）

120,000　円

５　交付金申請額

120,000　円

（内、交付金加算額　　０円）

６　合同で実施する地区　　なし

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

ホタル育成事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

ゲンジボタルの育成事業を通じて青少年育成を始め地域の自慢として
育てるため。以下の事業を計画する。

１）ホタルの里親づくり
２）ホタルの幼虫放流会の実施
３）ホタルの観賞会開催
４）明世小学校との勉強会の開催
５）用水路の整備作業の実施

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

１）ホタルの里親づくり…水槽設置支援、育成方法指導、餌のカワニナ補給等
・育成先…せいわ保育園、明世小学校、瑞浪北中学校、中京高等高校、
サイエンスW, 瑞浪市浄水場、地域有志(8人)　→計画通り（計３２水槽）

２）ホタルの幼虫放流会の実施…３月（ホタルの里“福”にて５年生授業として）　→実施済み

３）ホタルの観賞会の開催…６月１５日～２１日　→　延べ８００人観賞
・他団体とコラボすることで、集客を高め認知度アップに繋げる）
※釜戸地区竜銀の滝ホタルまつり、暮らしの彩りマーケット

４）明世小学校との勉強会の開催…５月（５年生授業にて）講師／奥村　了氏　→実施済み

５）ホタルの専用水路整備作業の実施…都度必要に応じ（草刈り、泥だしetc）　→実施済み

４　事業に要する経費（総事業費）

当初　170,000　円

５　交付金申請額

当初　170,000　円
（内、交付金加算額　0円）

６　合同で実施する地区　該当なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	ホタル育成事業役員事業計画打合せ	食糧費	2,000
５月	勉強会（明世小）	消耗品費	1,000
	関係者会議（地域学校協働活動委員会）	食料費	2,000
６月	観賞会準備（遮光ネット設置等）	食糧費	2,000
	ホタル育成及び観賞会	消耗品費	61,000
		食料費	13,000
７月	里親対応（水槽設置支援）	消耗品費	15,000
	ホタルの里専用水路整備	食料費	8,000
８月	ホタルの里整備	食糧費	3,000
	ホタル観賞会振返り会議	使用料	6,000
		食糧費	17,000
９月	里親対応（育成フォロー）	食料費	1,000
	ホタルの里専用水路整備	工事費	5,000
		食糧費	6,000
１０月			
１１月	里親対応（育成フォロー）		
	ホタルの里専用水路整備		
１２月	ホタル育成事業　今後の対応会議	食糧費	4,000
	ホタルの里専用水路整備	消耗品費	3,000
１月	里親対応（育成フォロー）		
２月	ホタルの里専用水路整備（泥だし、草刈）	食糧費	3,000
	里親対応（育成フォロー）		
３月	幼虫放流会（明世小５年生）	消耗品費	1,000
		食料費	17,000
合計			170,000

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績額	備考
夢づくり地域交付金	170,000	170,000	
自主財源	0		
その他（　　）	0		
合　　計	170,000	170,000	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容				
会議	委員会の開催 主要ホタル育成事業者				
		食料費	19,000	19,000	
		使用料	6,000	6,000	外部会議室
	小計		25,000	25,000	
ホタル育成諸活動	里親対応	消耗品費	15,000	15,000	
		食料費	10,000	10,000	
	幼虫放流会	消耗品費	1,000	1,000	
		食料費	17,000	17,000	
	観賞会	消耗品費	61,000	61,000	水槽交換部品
		食料費	13,000	13,000	
		報償費	0		
	勉強会	消耗品費	2,000	2,000	
	専用水路の整備作業	消耗品費	3,000	3,000	
		食料費	18,000	18,000	
		工事費	5,000	5,000	沈砂池排水
	小計		145,000	145,000	
合　　計			170,000	170,000	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

明世ホタルの里　“福”観賞会

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

明世まちづくりとしてのボタル育成活動も４年目を迎えるも、町内外への認知度が低く、当該事業の成果のお披露目でもある「ホタルの里“福”での観賞会に関心を持っていただける町内外の方々に周知し認知度をアップさせる。

このため、今年度の観賞会では他団体とのコラボ企画として、市民公園では毎回好評の「暮らしの彩りマーケット」さんと連携し、キッチンカーを始めコラボ最終日には彩りマーケットを市民公園にて行います。また、市内同時期に釜戸地区さんでも開催される、竜吟の滝「ホタルまつり」ともコラボし、期間中お互いに観賞会への魅力を伝えていく。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

・明世ホタルの里“福”観賞会の開催…６月１４日（土）～２２日（日）
　→コラボ期間：６月１５日(日）～２１日（土）
　→期間中来場予定者：１，０００名

４　事業に要する経費（総事業費）

110,000　円

５　交付金申請額（加算額）

110,000　円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区　　釜戸地区まちづくり推進協議会
（同地区　竜吟の滝　ふれあい館）

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

明世ホタルの里　“福”観賞会

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

明世まちづくりとしてのボタル育成活動も４年目を迎えるも、町内外への認知度が低く、当該事業の成果のお披露目でもある「ホタルの里“福”での観賞会に関心を持っていただける町内外の方々に周知し認知度をアップさせる。
　このため、今年度の観賞会では他団体とのコラボ企画として、市民公園では毎回好評の「暮らしの彩りマーケット」さんと連携し、キッチンカーを始めコラボ最終日には彩りマーケットを市民公園にて行います。また、市内同時期に釜戸地区さんでも開催される、竜吟の滝「ホタルまつり」ともコラボし、期間中お互いに観賞会への魅力を伝えていく。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

・明世ホタルの里“福”観賞会の開催…６月１４日（土）～２２日（日）
　　→コラボ期間：６月１５日(日）～２１日（土）
　　→期間中来場予定者：１，０００名
　　→ホタルナイトホタルの里来場者数　約、２，０００名
　　→彩りマーケット会場まちづくりブース　約２，５００名

４　事業に要する経費（総事業費）

当初　　146,000　　円

５　交付金申請額

当初　　146,000　　円
（内、交付金加算額　　0円）

６　合同で実施する地区　　該当なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容		経費の内容	
			決算科目	金額
４月	チラシ等による広報活動		印刷費	0
５月	来場者記念品（ｱﾛﾏｽﾄｰﾝとｱｸﾘﾙ絵の具他）		原材料費（ｱﾛﾏ）	25,000
			消耗品費（ﾌﾞﾗｯｸﾗｲﾄ他）	7,000
６月	ホタル観賞会事前準備と期間中の対応	開催ﾁﾗｼ	印刷費	17,000
		ﾏｯﾋﾟﾝｸﾞｷｻﾞｲ	使用料	15,000
		絵の具	消耗品費	4,000
		ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ食材	食糧費	28,000
７月				
８月				
９月				
１０月				
１１月				
１２月	ホタルナイトイベント企画運営指導（暮らしの彩りＭ　実行委員会　川井様）		報償費	50,000
１月				
２月				
３月				
合計				146,000

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績額	備考
夢づくり地域交付金(加算分)	146,000	146,000	
自主財源	0	0	
その他（　　）	0	0	
合　　計	146,000	146,000	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容				
ホタル観賞会（他団体とコラボ）	・開催チラシ作成による広報活動	印刷費	17,000	17,000	ラクスル
	・来場者記念品対応	原材料費	25,000	25,000	ｱﾛﾏｽﾄｰﾝ
		消耗品費	11,000	11,000	ｱｸﾘﾙﾏｰｶｰ他
	・ボランティアスタッフ対応	食糧費	28,000	28,000	軽食パン配布
	・ホタルナイト企画運営全般	報償費	50,000	50,000	暮らしの彩りマーケット実行委員会
	・ナイトM本部会場音響	使用料	15,000	15,000	プロジェクションマッピング
合　　計			146,000	146,000	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	明世　地区
事業番号	1
事業名	あきよウォッチング　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	(1)町民ウオーキング　令和7年11月上旬　150人程度 (2)どんど焼き　令和8年　1月上旬　100人程度 (3)学区合同イベント　令和7年11月上旬　200人程度	3
		実績値	(1)町民ウオーキング　令和7年11月上旬　160人程度 (2)どんど焼き　令和8年　1月上旬　120人程度 (3)学区合同イベント　令和7年11月上旬　180人程度	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	更なる全体参加者数の促進(自治会未加入者地区※)	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				21

今後の事業展開の方向性	1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	・本年度より、地域計画の実行とした「明世地区合同イベント」を実施し、地区全体での親睦を深めることに繋がった。 ・行政上は瑞浪地区となる「和合町内会」にも、当該地区より明世小学校に通学する児童を通じ開催案内チラシを配布し、広く参加を呼び掛けた。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	明世　地区
事業番号	2
事業名	広報活動　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	→年度末に年間総括版として発行する。	3
		実績値	→年度末に年間総括版として発行した。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	明世インスタグラムを使った、まちづくり活動状況の発信について (掲載写真、動画の質向上、等。	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		3
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				20
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		・地域内住民へのまちづくり活動状況の周知として、都度イベントが行われた当日ないし翌日には、インスタグラムへのアップをするも、フォロワー数は伸び悩んでいる。より興味をそそる様なインスタを目指して今後も取り組んで行きたい。、		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	明世　地区
事業番号	3
事業名	スポーツ推進　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	(1)ノルディックウオーク　4月～11月(延べ8回)　160人程度 (2)ヨガ・エアロビ講習会　6月(ヨガ)10月(エアロビ)　50人程度	3
		実績値	(1)ノルディックウオーク　4月～11月(延べ8回)　→140人程度 (2)ヨガ・エアロビ講習会　6月(ヨガ)10月(エアロビ　→　30人程度	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	若い方の参加促進。 高齢者の開催場所への移動(徒歩の人は会場迄来づらい)	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				22

今後の事業展開の方向性	1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	・イベントにもっと幅広い年齢層にも参加が頂ける様、、イベント内容(子供も参加し楽しめるなど)を再考をする必要がある。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	明世　地区
事業番号	4
事業名	花いっぱい　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	春：1，200ポット 明世小学校：300、山野内：300、戸狩：300、月吉：300 秋：　→　1，000ポット 明世小学校：300、山野内：300、戸狩：300、月吉：300	4
		実績値	春：1，200ポット　→計画通り 明世小学校：300、山野内：300、戸狩：300、月吉：300 秋：1，200ポット　→計画通り 明世小学校：300、山野内：300、戸狩：300、月吉：300	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	若い方の参加促進。 高齢者の開催場所への移動（徒歩の人は会場迄来づらい）	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				23

今後の事業展開の方向性	1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	・小学校を除き、他3地区（戸狩区、月吉区、山野内区）ともに、花植え後の管理が行き届いていない。 （各地区とも長寿会に依存） ・3地区とも、それぞれの地域ごとで見ると花植え箇所が限定的（1箇所）のため、植えた後の管理面での問題はあるが、もう何か所か広げていければ良い。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	明世　地区
事業番号	5
事業名	青少年育成　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	1）明世学区青少年育成町民会議を10月に開催。80名目標 2）こいのぼり祭り　風船飛ばし、野球拳等 3）市文化祭　ホタル育成事業と明世小コミュニテイスクール活動状況をパネル等で取り纏め展示。 4）地域計画の実行　（中京高校との協働推進） 耕作放棄地を活用し、お花畑化と養蜂行い、地域の活性化に繋げる。	3
		実績値	1）明世学区青少年育成町民会議を10月開催し、90名来場の中、明世小、北中、中京高校より、地域をテーマに発表を頂き参加者より好評を得た。 2）こいのぼり祭り　5月4日、5日開催し、延べ400人が来場。 3）市文化祭　→ホタル育成事業を展示。期間中凡そ500人が立ち寄り頂き高い関心を得た 4）地域計画の実行　（中京高校との協働推進） 耕作放棄地を活用した、お花畑化と養蜂は概ね計画通りに実施できた。地域協力者延べ120名、高校生延べ60名が参加。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		3
4	地域の課題解決	課題の内容	若い方の参加促進。 高齢者の開催場所への移動（徒歩の人は会場迄来づらい）	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				21
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		・地域計画（耕作放棄地を使っての中京生との地域活性化活動）への取り組みは3年目を迎えたが、成果としてはいまだ目標半ばで不十分。 ・明世まちづくりとしても、高校生等と共に無理のない形で、「持続可能」な活動として楽しく取り組める様、取り組んで行きたい。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	明世　地区
事業番号	6
事業名	ホタル育成　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	1)ホタルの里親づくり…水槽設置支援、育成方法指導、餌のカワニナ補給等 ・育成先…せいわ保育園、明世小学校、瑞浪北中学校、中京高等高校、サイエンスW,瑞浪市浄水場、地域有志(8人) 2)ホタルの幼虫放流会の実施…3月(ホタルの里"福"にて5年生授業として) 3)ホタルの観賞会の開催…6月15日～21日　→　延べ800人観賞 ・他団体とコラボすることで、集客を高め認知度アップに繋げる) ※釜戸地区竜銀の滝ホタルまつり、暮らしの彩りマーケット 4)明世小学校との勉強会の開催…5月(5年生授業にて)講師／奥村　了氏 5)ホタルの専用水路整備作業の実施…都度必要に応じ(草刈り、泥だしetc)	5
		実績値	1)ホタルの里親づくり…概ね計画通り(中京は移転工事のため休止) 2)ホタルの幼虫放流会の実施…計画通り 3)ホタル観賞会の開催…→期間中(通常開催)延べ800人の観賞者有り ホタルナイト当日は、凡そ2000名が来場 ・釜戸地区竜銀の滝ホタルまつりとのコラボでは両地区のPRが効果的にできた。 ・20日のホタルナイトでは、次年度に向け多々、参考となった。(駐車場問題等) 4)明世小学校との勉強会の開催…計画通り実施 5)ホタルの専用水路整備作業の実施…概ね計画通り実施	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	ホタルの里"福"を知ってもらい、観賞会時には来てもらうこと。	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		3
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				23
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		・ホタル観賞会(ホタルナイトを除く通常開催期間)の開催期間(約10日)、開催時間(2時間半)が長いため、関係スタッフに負担が大きく、今後のあり方について見直しの余地がある。 ・将来、奥村　了氏に取って代わるべく、ホタル育成事業の指導者を早急に進める必要がある。(数年来)		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

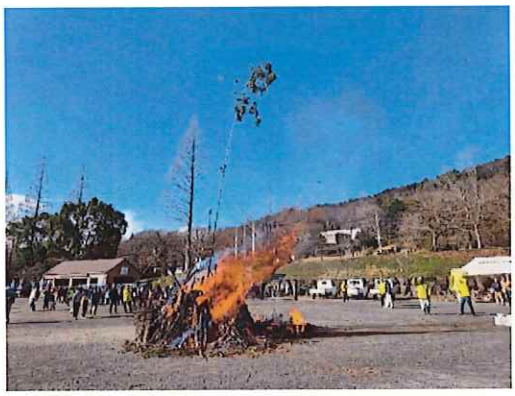
地区名	明世　地区
事業番号	7
事業名	ホタルナイト　事業

評価項目		評価項目に対する 各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	・明世ホタルの里"福"観賞会の開催…6月14日(土)～22日(日) →コラボ期間:6月15日(日)～21日(土) →期間中来場予定者:1，000名	4
		実績値	・明世ホタルの里"福"観賞会の開催…6月14日(土)～22日(日) →コラボ期間:6月15日(日)～21日(土) →期間中来場予定者:1，000名 →ホタルナイトホタルの里来場者数　約、2，000名 →彩りマーケット会場まちづくりブース　約2，500名	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	ホタルナイトを恒例のイベントとして定着させるべく、毎年の在り方。 （規模、イベント内容、等）	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				23
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		・想定を大幅に超える来場者に、駐車場及びホタルの里観賞会場では対応に課題が残った(誘導員、駐車場等)		

各事業別　主なイベント

◆青少年育成事業

●どんど焼き　　@市民公園いこいの広場





●ウォッチングイベント　町民ウォーキング





◆防犯・防災事業

●防災イベント　　@市民公園いこいの広場　　※どんど焼き終了後に開催





◆地域学校協働活動事業

●こいのぼり祭り　風船飛ばし、 昔遊び



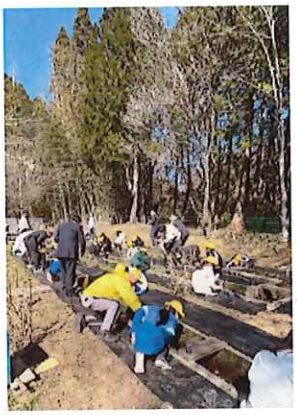




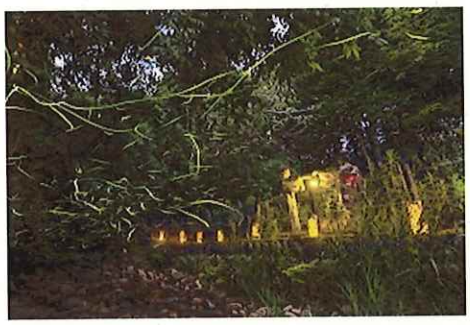
●ホタル育成活動（幼虫放流会













●明世学区青少年育成町民会議（2月16日㈪）　@明世小学校体育館



中京高等学校



明世小学校

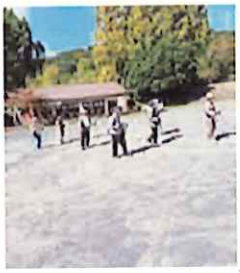


瑞浪北中学高

◆スポーツ事業

●ノルディックウォーキング　4月～12月毎週第4火曜





●ストレッチ講習会　6月、





◆福祉事業

●健康福祉講話の開催（社会福祉協議会明世支部との協賛）各地区10月







◆広報事業

●機関誌「明世まちづくりだより」の発行



◆会長直轄事業（まちづくりより有志による協力者数名と事務局）

●花の苗植え







●アジサイの植樹（地域有志、明世小学校、瑞浪北中学、中京高等学校ボランティア）







●地域計画活動（お花畑と養蜂）







